

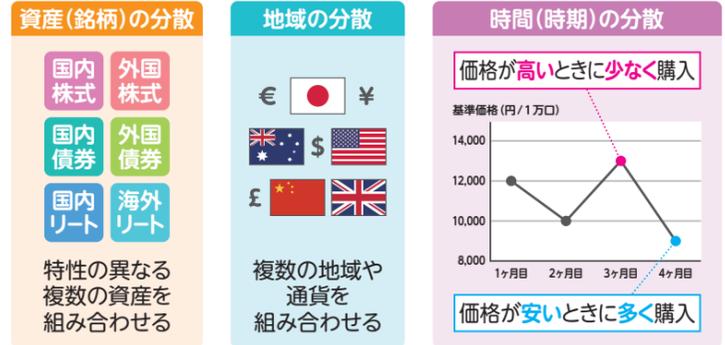
資産形成は、お金を小分け、長い期間で育てることがポイント!

人生100年時代を迎え、物価上昇が続く今、資産形成への注目が高まっています。しかし、ニュースなどで株式市場のマーケット状況が報道されると、「運用商品は始めるタイミングが難しい」「どれを選べばいいかわからない」と感じるかもしれません。リスクはゼロにはできませんが、『長期分散投資』で資産形成を考えてみませんか?

有名な株式相場の格言で「卵は1つのカゴに盛るな」というものがあります。卵=投資(資産)です。複数の銘柄に分散投資することで失敗のリスクを減らします。



分散投資には、「資産・銘柄」の分散や「地域」の分散などのほか、投資する時間(時期)をずらす「時間(時期)」の分散という考え方があります。



出典：金融庁ウェブサイトをもとに〈中央ろうきん〉が作成

【投資信託】●投資信託は預金ではなく預金保険制度の対象ではありません。また、投資者保護基金(*)の支払いの対象ではありません。●投資信託は株式、公社債などの値動きのある証券等(外国証券を組入れ対象としたファンドは為替変動リスクもあります。)に投資しますので基準価額は変動します。よって、元本および収益金は保証されておりません。●投資信託のご購入、保有、換金に際しては、各種手数料等【お申込金額に対して最大3.3%(税込)のお申込手数料、純資産総額に対して最大年率2.42%(税込)の信託報酬、換金時の基準価額に対して最大0.5%の信託財産留保額、その他運用に係る費用(監査報酬、有価証券売買手数料等※運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額を示すことができません。)]をご負担いただきます。商品ごとに費用が異なりますので、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面にてご確認ください。●投資した資産に生じた利益および損失はすべてお客様に帰属します。●過去の運用実績は、将来の運用結果を約束するものではありません。●投資信託はあらかじめ決められた受益権の口数を下回ることになった場合、もしくは信託契約を解約することが受益者のために有利であると認められたとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、委託会社と受託会社が合意のうえ信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。●当金庫はご購入・換金のお申込みについて取扱いを行っております。投資信託の設定・運用は各運用会社が行います。●投資信託の取得のお申込みに関しては、クーリングオフの規定の適用はありません。●ご購入の際には投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面をご確認のうえご自身でご判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面は、営業店(ローンセンターを除く)にご用意しております。ただし、インターネット専用ファンドについては、インターネットによる電子交付となります。(*)投資者保護基金とは、証券会社の経営が破綻したとき、顧客に対する支払いの保証をする機関です。【NISA(少額投資非課税制度)】【共通】●日本にお住まいの18歳以上の方(口座を開設する年の1月1日現在)が対象です。●同一年において開設できるNISA口座は全ての金融機関を通じてお一人様1口座です(金融機関の変更等を行った場合を除く)。●NISA口座内の取引により発生した損失は、NISA口座以外(一般口座や特定口座)で保有する株式投資信託等の取引と損益通算することはできません。また、繰越控除することもできません。●年間非課税投資枠は、つみたて投資枠が120万円、成長投資枠が240万円となり、手数料を含みません。約定期間(基準価額×口数)の合計が各非課税投資枠の上限に達するまで投資することができます。●年間非課税投資枠の未使用額を翌年以降へ繰越すことはできません。また、売却や基準価額下落による非課税投資枠の再利用はできません。●非課税保有上限額は、つみたて投資枠・成長投資枠合わせて1,800万円(うち成長投資枠は1,200万円)となります。なお、NISA口座の保有資産を売却した場合、翌年以降売却分(購入時の金額で計算)の非課税保有上限額の再利用が可能です。●分配金を受け取る場合は非課税ですが、分配金再投資時において、年間非課税投資枠(つみたて投資枠120万円、成長投資枠240万円)を超えた場合は課税扱いになります。●分配金のうち、特別分配金は口座の種類にかかわらず非課税であり、税法上のメリットを享受できません。また、当該分配金の再投資を行う場合には、年間非課税投資枠が費消されます。●すでに保有している投資信託をNISA口座に移管することはできません。●金融機関によって、取扱うことのできる金融商品の種類およびラインアップは異なります。中央労働金庫では、税法上の株式投資信託のみ取扱っています。●この案内は、作成時点における法令その他の情報に基づき作成しており、今後の改正等により取扱いが変更となる可能性があります。【つみたて投資枠について】●つみたて投資枠の利用は、累積投資契約(定額定期買付サービス)に基づく定期かつ継続的な方法により対象商品を買付いただくことが必要です。●つみたて投資枠に係る累積投資契約(定額定期買付サービス)により買付した投資信託の信託報酬等の概算値を原則として年1回通知いたします。●基準経過日(初めてNISA口座のつみたて投資枠に特定累積投資枠を設けた日から10年を経過した日および同日の翌日以後5年を経過した日ごとの日)にお名前・ご住所について確認させていただきます。当該確認ができない場合には、新たに買付けた投資信託等をNISAに受入れできなくなる可能性があります。【定額定期買付サービス】●申込期限:口座引落日の5営業日前までにお申込みください。●申込金額:1,000円以上1,000円単位。1回の引上上限額100万円。年2回まで「特定月」を設定し、通常月と異なる引落金額を設定することができます。●引落日:口座引落日における(中央ろうきん)のお客様ご指定の普通預金口座。●引落日:7、17、27日のうちから選択。引落日が休業日となる場合は、翌営業日が引落日となります。●手数料:本サービスに係る手数料はかかりません。なお、ファンド買付に伴う所定の手数料(お申込手数料)および手数料にかかる消費税等は購入額より差し引かれます。●対象ファンド:本サービスは、公社債投資信託を除く、〈中央ろうきん〉取扱いの投資信託をご利用いただけます。●引落条件等:指定預金口座の残高が不足している場合、その月の買付は行いません。複数のファンドの引落日を同日に指定している場合に、残高が引落総額に満たないときは、当金庫所定の方法により買付を行うファンドを選択します。●ファンドの買付申込受付日:口座引落日の翌々営業日。※実際の買付日はファンドによって異なりますので、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。●換金:通常の買付と同様、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)で定められた日であればいつでも換金のお申込みが可能です。●取引の解約、変更:次回口座引落日の5営業日前までにお申込みください。【iDeCo】●iDeCo加入時、および加入以降、受給が終了するまで所定の手数料が必要です。●障害・死亡等の事由に該当した場合を除き、原則としてiDeCoに積み立てた資産を60歳まで引き出し(中途解約)することはできません。(通算加入者等期間が10年に満たない場合、給付を請求できる年齢は通算加入者等期間に応じて繰り下がります。また、75歳到達により、それまで給付の請求がない場合は一時金として支払われます。)●投資信託等のリスク性商品で運用を行う場合、運用結果により受取金額は掛金元本の累計を下回る場合があります。●ご転職・ご退職・雇用形態の変更等により、iDeCoに登録されている「国民年金の被保険者種別」や「企業年金等(他年金)の加入状況」等に変更がある場合、速やかにお手続きをお願いいたします。お手続きが行われていないと、掛金拠出が停止される場合がありますので、ご注意ください。●別途ご用意しているリーフレット等で詳細をご確認ください。●本チラシは作成時点における税制・関係法令等に基づき作成しております。●今後、法改正・取扱変更等の可能性がありますので、記載の内容・数値等は将来にわたって保証されるものではありません。●個別の税務取扱等につきましては、税務署・税理士等にご確認ください。【ATM・CD引出手数料キャッシュバックサービス】●普通預金・貯蓄預金口座のお引出し、カードローン(マイプラン・教育ローン[カード型])のお引出しに対象に、1口座あたり何回でも、ATM・CDご利用時の引出手数料を即時にご利用口座へキャッシュバックいたします。●キャッシュバック回数に制限はありません。●生協組合員の皆さまが口座開設をいただく場合は、本人確認資料に加えて生協組合員証(電子化/ Webの場合はスマートフォンの画面)等で取引資格の確認をさせていただきます。なお、関係法令等に基づき使用目的などをお伺いし、場合によってお断りすることがあります。※中央労働金庫登録金融機関 関東財務局長(登金)第259号 詳しくは〈中央ろうきん〉生協会員フリーダイヤル(0120-692-506)、または営業店までお問い合わせください。本情報誌の掲載内容は2024年9月17日現在。



知っ得情報

資産形成特集号

貯蓄と投資を使いわけて、〈中央ろうきん〉で資産形成を始めよう!



〈ろうきん〉の誕生には生協が深く関わっています

営利を目的としない 金融機関〈ろうきん〉

〈ろうきん〉は生協や労働組合などの働く仲間が互いを助け合うために資金を出し合っ てつくれた、協同組織の金融機関です。

〈中央ろうきん〉らしいCSRの実践

- 〈中央ろうきん〉助成制度 “カナエルチカラ”
- 金融教育の取組み
- ピンクリボン運動を応援 など

詳しくはコチラから!

〈中央ろうきん〉LINE公式アカウント ぜひ「お友だち登録」をお願いします!

お役立ち情報やキャンペーン情報などをお届けしています!

「お友だち登録」方法

二次元コードから

友だち検索から

ID検索から

中央ろうきん @chuorokin

今ある金融資産を確認して、目的別にお金の色分けをしよう!



1 使うお金 使い勝手のよい金融機関に!

POINT 1 **キャッシュレスにも対応!** スマートフォン決済サービス
 (中央ろうきん) 普通預金口座からスマートフォン決済アプリへのチャージが可能!

チャージ可能なスマートフォン決済アプリ
PayPay **LINE Pay** **Jcoin**
 (中央ろうきん) 普通預金口座を登録することで、口座から左記のスマートフォン決済アプリへ即時チャージ(手数料無料)できます。

普通預金口座から直接支払いが可能!
Bank Pay (中央ろうきん) 普通預金口座を登録することで、口座からチャージ不要で直接支払うことができます。

※(中央ろうきん) 普通預金口座のキャッシュカードをお持ちの方がご利用いただけます。

POINT 2 **全国のATMでいつでも使える!** キャッシュカード
 ろうきん以外の銀行でも利用可能
 銀行・信金・信組
 24時間ご利用可能※
 セブン銀行 ATM E-net
 さらに引出手数料がキャッシュバックで、
実質0円

ゆうちょ銀行 イオン銀行
 たとえばこんなコンビニに FamilyMart
 ※システムメンテナンスにより一部ご利用いただけない時間帯があります。また、一部設置していない場所もあります。



2 備えるお金 使い道が決まっているお金は元本保証で!

『全力サポート!“生活応援”定期預金キャンペーン』実施中!

特典①	キャンペーン期間中に対象条件を満たす方に抽選で生活応援ギフトをプレゼント!	詳しくはコチラから!
特典②	金利上乘せ定期預金もご用意しています!	
期間	2024年7月16日(火) ~ 2025年3月31日(月)	

他にも **お得に使えてうれしい金利上乘せ定期預金もあります!**

- インターネットバンキング 金利上乘せ定期預金
 - 投資信託金利上乘せ定期預金
 - 相続定期預金
 - 相続定期預金(遺産整理専用) など
- こんなに種類があるんだ!
 金利上乘せ幅をホームページでチェックしなさい!
 詳しくはコチラから!

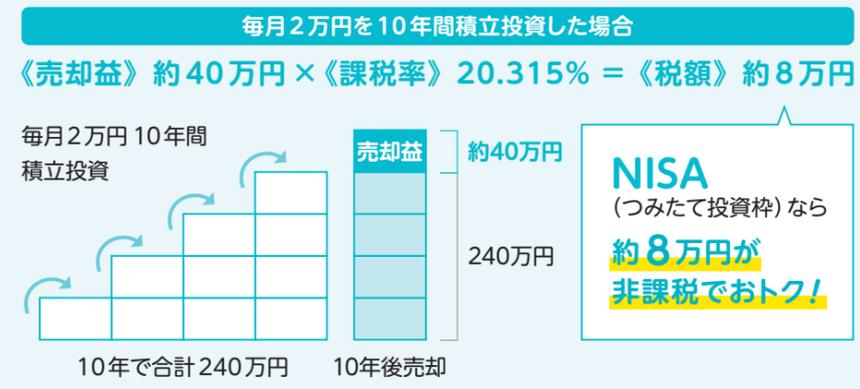
3 育てるお金 NISAやiDeCoは余剰金の範囲内で!

リスクと上手につき合うコツは裏面を確認!

NISA つみたて投資枠 つみたて投資枠は国が定めた条件を満たした投資信託で少額から毎月積立投資が可能のため、投資初心者でも購入のタイミングに悩まず始めやすいのが特徴です。

- 非課税投資枠は毎年120万円
- 非課税保有期間は無期限
- 販売手数料が無料

例えば、ある投資信託を毎月2万円ずつ積み立てるとします。10年間で投資額240万円、基準価額が値上がりしたので、売却により受取額が約280万円になりました。**約40万円の売却益は非課税**なので、通常の投資信託購入時に比べて**約8万円**得したことになります。



NISAについて詳しくはコチラから!

iDeCo (イデコ) (個人型確定拠出年金) 任意で申し込むことにより公的年金にプラスして給付を受けられる私的年金の一つです。加入者自らが掛金を拠出して、自らが運用方法を選び、掛金とその運用益との合計額をもとに給付を受ける、いわば「自分で育てる年金」です。

- 手厚い税制優遇
- シンプルかつ低コストの商品ラインアップ
- 掛金額は月額5,000円から

メリットがたくさん! iDeCoの「3つの税制優遇」

拠出時 掛金が全額所得控除! ▶ **運用時** 運用益は全額非課税! ▶ **受取時** 受取時も税制優遇!

課税所得から年間の掛金分が控除されるため、所得税・住民税等の負担が軽減されます。

一般的に金融商品の利息や運用益にかかる税率は20.315%ですが、iDeCoの場合は非課税となります。

年金として受け取る場合は「公的年金等控除」、一時金で受け取る場合は「退職所得控除」の適用対象となります。

年金として受け取る 公的年金等控除
 一時金として受け取る 退職所得控除

iDeCo加入前: 課税所得 (税金) + 運用益
 iDeCo加入後: 課税所得 (税金) + 運用益

iDeCoについて詳しくはコチラから!

お金の色分けから始める未来設計

資産形成は、個々の生活状況や将来の目標に応じた商品を考える必要があります。お金の色分けを通じて自分の経済状況を把握し、それぞれの目的に合わせた運用方法を選択することが大切です。安全性と収益性のバランスを考慮しながら、自分らしい資産形成の道筋を見つけていきましょう。専門家のアドバイスも活用しつつ、長期的な視点で着実に進めていくことが重要です。詳しくはコンタクトセンターまでお問い合わせください。

ご相談は **コンタクトセンター**
0120-383-837 (平日 9:00~19:00 / 土日 10:00~17:00)
 ※祝日は休業となりますが、祝日が土・日曜日の場合は営業いたします。※12月31日~1月3日は休業となります。
 ●投資信託・国債 ●iDeCo ●無担保ローン・カードローン(マイプラン)